

令和3年度第2回（第233回）仙台市国民健康保険運営協議会 会議録

開催日時 令和4年1月19日（水） 13:30～14:30

場 所 仙台市役所本庁舎 第一委員会室

会議次第

1 開会

2 議事

(1) 協議事項

- ① 令和3年度仙台市国民健康保険事業特別会計補正予算（案）について 【資料1】
- ② 令和4年度仙台市国民健康保険事業運営計画（案）について 【資料2】
- ③ 令和4年度仙台市国民健康保険事業特別会計予算（案）について 【資料3】
- ④ 仙台市国民健康保険条例の一部改正（案）等について 【資料4・5】

(2) その他

3 出席者

出席委員（19人）

- 鹿野委員、佐藤（昭）委員、遠藤（良）委員、遠藤（和）委員、高橋（裕）委員、佐藤（太）委員、菅原委員
- 安藤委員、小針委員、小菅委員、柴崎委員、北村委員、高橋（將）委員
- 渡辺委員、鎌田委員、庄司（俊）委員、橋本委員、ひぐち委員
- 佐藤（昌）委員

欠席議員（4人）

- 清水委員
- 跡部委員、村上委員
- 庄司（秀）委員

事務局

健康福祉局長、保険高齢部長、収納対策室長、同室収納企画係長、同室徴収対策係長、保険年金課長、保険年金課管理係長、同課保健事業担当係長、同課保険係長、同課給付適正化担当係長

青葉区保険年金課長、宮城総合支所保険年金課長、宮城野区保険年金課長、若林区保険年金課長、太白区保険年金課長、秋保総合支所保健福祉課長、泉区保険年金課長

4 会議経過

○ 開会

○ 欠席者報告

○ 渡辺会長により議事進行

○ 署名委員の指名

鹿野委員、高橋（將）委員

○ （1）協議事項

【会長】

それでは、協議事項の①「令和3年度仙台市国民健康保険事業特別会計補正予算（案）について」、事務局から説明を願います。

【保険年金課長】

（資料1に基づき説明）

【会長】

はい、ありがとうございました。ただいま説明いただきましたが、この件について委員からご意見、ご質問がございましたら承りたいと思います。いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。ご意見、ご質問等がなければ、協議事項①「令和3年度仙台市国民健康保険事業特別会計補正予算（案）について」は、原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしとの声がありました。異議なしとのことですので、原案のとおり承認することいたします。

続きまして、協議事項②の「令和4年度仙台市国民健康保険事業運営計画（案）について」、事務局から説明をお願いします。

【保険年金課長】

(資料2に基づき説明)

【会長】

ただいま説明がありました件について、ご意見、ご質問等がございましたら承りたいと思いません。はい、ひぐちのりこ委員。

【ひぐち委員】

ご説明ありがとうございます。各政令指定都市で連携して国に財源措置を求めている、それが形になったことは大変嬉しく、ご努力に感謝したいところでございます。また、引き続き求めたいと思っています。それと、2ページの収納率向上対策の推進のことについてお伺いいたします。ペイジー及びweb口座振替受付サービスのことですが、これについての実績はどうだったのか、まず初めにお伺いします。

【会長】

はい、収納対策室長。

【収納対策室長】

過去4年間、毎年概ね11,000件ずつペイジーの口座振替受付サービスを増やしている状況でございます。一般には窓口で紙に手書きで口座振替を申し込むといった方法がございしますが、全体の約7割以上がペイジー端末での申し込みでございます。今回、web口座振替受付サービスを令和4年度から導入するというので、今努力しているところでございます。こちらは、インターネットでお客様、加入者の方々がご自分で、お家で口座振替の申込みができるという仕組みでございます。以上です。

【ひぐち委員】

確認しますが、過去4年間毎年毎年11,000件が上積みされて増えている、そのくらいの伸びがある、ということでしょうか。

【収納対策室長】

今手元に資料がありませんが、新たに国民健康保険に加入された方のうち、その半分ぐらいは脱退し、社会保険に入られますので結果的には数が減るのですが、新たに社会保険から国民健康保険に入ってくる方のうち、毎年11,000人ずつペイジーで口座振替に加入していただいているというわけでございます。

【ひぐち委員】

ご説明ありがとうございます。1万件以上というかなりの実績で、いろいろなお取り組みが素晴らしいと思っていますが、ペイジーの関係で今回大変私の印象に残ったのは、市営バスの広告

で運転手席の後ろのほうに丁度照明が当たるような形の、大変インパクトのある広告をしていたということです。今、社保の話もありましたが他の保険に入ってらっしゃる方も、「あ、国民健康保険」という印象付けにも効果があったと思うのですけれども、このように広報について、また、とりわけ交通局へオファーをして広告を出していただいたということについてお取り組みと、できれば今回の広告の評価とか反響などについてお伺いします。

【収納対策室長】

まず、カエルのキャラクターを使ったバスなどへの広告についてですが、口座振替勧奨、加入、脱退の手続き促進のために、仙台市営バスには年3回、地下鉄に年1回、概ねほぼ1か月ずつの提示ですので、延べ4か月分、ポスターを掲示しております。今回の令和3年度におきましては、口座振替の勧奨のカエルのキャラクターにコロナ減免のご説明も載せて、我々としてはお客様に少しでも伝えようということでバスの車内を使ったというものです。いわゆる費用の面ですが、今お話しした口座振替の加入と脱退の手続き促進の方法につきましては、収納対策の一環として国から調整交付金が全額出ますので仙台市としましては調整交付金の範囲内で広告を出しております。交通局への反響や評判についてはこちらまで来ておりませんが、私もバスに乗りますが、結構目立つにも関わらず、今まで悪い評判もございませんので、今後も続けていきたいと思っております。

【ひぐち委員】

ありがとうございます。カエルのキャラクターは大変インパクトがあるなと拝見しておりました。また、交通局も広告を出してくださいとPRしているところなので、ウインウインの形になっているのかなと思っております。そして、令和4年度からweb口座振替受付サービスをなさるとのことですが、今、インターネットバンキングなどでセキュリティの面とか不具合が出たという報道がございますので、それにも留意しながら、やはり利便性があって必要な方にしっかり届くことを求めたいと思います。ありがとうございます。

【会長】

ありがとうございました。ご意見承りたいと思います。はい、鎌田委員。

【鎌田委員】

ひぐち委員の指摘の関連ですけれども、(2)の収納率向上の推進で、青葉区役所において住民票の交付の際などの手数料をキャッシュレス決済で試験的に行っている取扱いがありました。国民健康保険についてはコンビニ納付や分割納付等も進めていただいておりますが、現状ではこのキャッシュレス決済等の対応やクレジットカード払い等については、取扱いがどのような状況であるか確認しておきたいと思いました。

【収納対策室長】

キャッシュレス決済につきましては、窓口と訪問時の2種類を考えていまして、訪問時、お客様のお家に行く場合は、簡易なプリンターからバーコード付きの納付書を打ち出してお客様へお

渡しし、お客様がコンビニで納めるか、あるいはスマホ決済にするかご自由にご選択していただ
いてお金を取り扱わないという方法を想定しております。窓口のほうにつきましては、少し遅れ
ますが、令和5年9月に基幹システムが大きく入れ替わりますので、そこに合わせながら窓口で
のキャッシュレス決済も進めて参る準備をしているところでございます。

【会長】

はい、よろしいでしょうか。伺っていて、効果のある対策をどんどん打っていただいておりますし、ご意見の中にもそういう向きのお話もありました。出来ること出来ないことはありますけれども、是非PDCAで効果を測りながら適切に進めていただければと思いつながり聞いておりました。僭越ですけれども申し上げさせていただきました。

他にご意見、ご質問がなければ、協議事項②「令和4年度仙台市国民健康保険事業運営計画(案)について」は原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

「異議なし」とのことですので、原案のとおり承認されました。

続きまして、協議事項③「令和4年度仙台市国民健康保険事業特別会計予算(案)について」事務局から説明願います。

【保険年金課長】

(資料3に基づき説明)

【会長】

はい、ありがとうございました。この件につきまして、ご意見、ご質問がございましたら承ります。はい、佐藤昌司委員。

【佐藤(昌)委員】

協会けんぽの佐藤でございます。ただいまの資料で3ページに一人当たり医療費の推移が掲載されておりまして、令和2年度はコロナの影響で少なくなったけれども、最近はまだ伸びているということでご説明いただきました。我々社保のほうでも同じような傾向がありまして、この伸び続ける医療費をどうやって抑えるか、今大いに苦心しているところですが、国保サイドのほうでも何らかの対策を取られていると思いますが、先程の運営計画ではその辺があまり詳しく記載されていないので、現在取られている医療費対策や、計画について教えていただければと思います。

【保険年金課長】

現在実施しております主な取り組みといたしまして、健康維持の基本となります特定健診の受診勧奨についてリーフレット、電話、はがきなどによって勧奨を行っているほか、本市は特に数

値が低い状況ですが、その後の保健指導、こちらも利用勧奨を通知電話等で実施しているという状況でございます。また、医療費に直結する部分といたしましては、やはり医療費が高額となる人工透析を行っている方の約6割が糖尿病を起因としているということでもありますので、糖尿病腎症の重症化予防事業ということで糖尿病の未治療者や治療を中断した方に対しまして、医療機関の受診勧奨を実施しているという状況でございます。特定健診の受診勧奨におきまして令和3年度につきましては、未受診の方に勧奨の時にいろいろお話をお伺いしますと、やはり「新型コロナウイルス感染症がやはり心配である」というお声を多くいただいておりましたので、今年度の受診勧奨のはがきにおきまして「医療機関においては感染予防対策を徹底しております」と、そして「基礎疾患があると新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが高まるという報告がなされています」といったことなどを受診勧奨のはがきに盛り込んで受診を促しているという状況でございます。令和4年度につきましてはこのような取り組みを継続して行うほか、特定保健指導の関係になりますが、令和2年度、3年度につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から健診結果通知を郵送でお送りするというようにしてございましたけれども、勿論今後の感染状況を見ながらにはなりますが、令和4年度につきましては以前のおり、健診結果は受診した医療機関から直接手渡すという形に戻しまして、医師の皆様との事後指導等を通じまして的確な保健指導とその利用率の向上に繋げて参りたいと考えております。また、先ほど申し上げましたが、特定保健指導の事業者が行う積極的支援につきましてオンラインによる遠隔指導、こちらの準備についても併せて進めている状況でございます。このような取り組みを粘り強くやっつけながら、医療費の適正化に繋げていければと考えております。以上です。

【佐藤（昌）委員】

関連しまして、今日の資料と市の国保のデータヘルス計画などを見せていただきまして、先ほどの資料にもありますが重症化予防対策の費用も取っていらっしゃるということで、我々社保でも健診結果で値の悪い方に対して、同じように早く医療の受診を受けるよう促しているのですが、どうも私共のほうはその分野の成績が悪く、協会けんぽの中では47都道府県の各支部が成績を競い合うのですが、宮城支部は医療受診を勧奨した方達の受診が思うように上手くいっていないということがあります。今日でなくていいのですが、対象者にどんなチラシを送った結果、少し良い反応があったというところがありましたら情報交換させていただきたいと考えております。

【保険年金課長】

仙台市国保といたしましても、協会けんぽさんの取り組み等をぜひ参考にさせていただければと思っておりますので、別途資料を準備いたしまして情報交換等させていただければと思います。よろしく願いいたします。

【会長】

ありがとうございました。他にご意見等承ります。よろしいでしょうか。

ご意見、ご質問等なければ協議事項③「令和4年度仙台市国民健康保険事業特別会計予算（案）について」は原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

「異議なし」との声がありました。異議なしとのことですので、原案のとおり承認されました。

続きまして、協議事項④「仙台市国民健康保険条例の一部改正（案）等について」事務局から説明願います。

【保険年金課長】

（資料4、5に基づき説明）

【会長】

ただいま説明がありました件について、ご意見、ご質問等を承りたいと思います。

よろしいでしょうか。ご意見、ご質問がないようでございます。協議事項④「仙台市国民健康保険条例の一部改正（案）等について」については原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

「異議なし」との声がありました。異議なしとのことですので、原案のとおり承認されました。

本日の議題は以上となりますが、この際その他として、委員の皆様から何かありましたら承りたいと思います。はい、佐藤昌司委員。

【佐藤（昌）委員】

私達社保では、マイナンバーカードを保険証代わりに使えるという仕組みが始まったので、その広報を始めたところですが、国保サイドではその辺の切替えというのは同じようにあるのでしょうか。

【保険年金課長】

国保におきましても、マイナンバーカードの保険証利用というのは社保と同じようにスタートしておりまして、これまで周知などを含めて対応してきたところでございます。

例えば周知でいきますと、パンフレット、リーフレット、ホームページ、年2回の医療費通知などで、「マイナンバーカードが保険証として利用できます」と広報に努めているほか、昨年11月には市医師会の役員会にリモートで参加させていただきまして、マイナンバーカードの保険者利用によるオンライン資格確認についてご説明をさせていただいたところでございます。

【会長】

佐藤昌司委員いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

【佐藤（昌）委員】

はい。ありがとうございます。

【会長】

はい、この件についてご意見はございませんか。鎌田城行委員。

【鎌田委員】

せっかく今、健康保険証としての取扱いということで伺いましたが、実際のところ医療機関の方々のご協力があって初めて成立する話かと思えます。もしご意見等聞かせていただけるのであればお願いできますか。

【会長】

安藤委員お願いできますか。

【安藤委員】

仙台市医師会の安藤でございます。我々も、マイナンバーカードが保険証として使える、それから、本人の承諾があれば特定健診の結果などもマイナンバーカードのポータルに入って閲覧できるということで、医療側としても大変活用の価値があると思っております。私の四郎丸の医院では高齢の方が多くてなかなかそういったものに対する関心は薄いように思いますが、街のほうの都会のクリニックではかなり取り組みが進んできているとは思いますが。仙台市医師会の会員にどういう状況なのかをお知らせするために仙台市に説明をしていただいたところでございます。今後必ず普及していくものだと思いますので、しっかり取り組んでいきたいと思っております。

【会長】

ありがとうございます。鎌田委員よろしいでしょうか。

私から関連して質問させていただきたいのですが、安藤委員からご高齢の皆様方にも関心を持っていただいて積極的に取り組んでいただきたいとあり、皆さんもそうお考えになると思いますが、当局としては世代間のばらつきがないような対応については今お考えになっておられますか。保険年金課長。

【保険年金課長】

マイナンバーカードの保険証利用につきましては、特に年齢とか世代によって周知広報の仕方を分けるといったことを今はしていないのですが、ただいま医師会の安藤委員からお話もございましたので、そういった観点も考慮しながら広報周知等努めて参りたいと考えております。

【会長】

ありがとうございます。鎌田委員よろしいでしょうか。それでは、その他ご意見、ご質問ありましたら承りたいと思えます。はい、安藤委員。

【安藤委員】

この会の内容とは全く関係のないことですが、今のコロナ、オミクロン株ですが非常に感染力が強いので、このような伯仲した真剣な議論をする場で説明する方の説明が長くなり、万が一その方がウイルスを持っているということになりますと、かなり拡散するんですね。我々は皆、マスクは常識的にしていますが、もうひとつ大事なことは「換気」ということになります。少し寒いかもしれませんが、ドアを向こうは開けていますが、こっちも開けるとか小さなファンとか空気を回すものを使って常に空気を動かすということをするとかかなり感染のリスクを下げられると思いますので、是非そういったことをこうした市の会議で取り組まれてはと思います。以上でございます。

【会長】

ありがとうございます。医師会の会長をお務めになっている安藤委員からご提案がございました。この際ですから被保険者代表の委員の皆様からは、ご質問ございませんか。

ないようでございます。

それでは以上をもちまして、本日の運営協議会は閉会といたします。委員の皆様には円滑な議事進行にご協力いただきまして誠にありがとうございました。